

横芝 ロータリークラブ



会報

2007～2008 RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン
第2790地区ガバナー 白鳥政孝 第6分区ガバナー補佐 秋葉吉秋

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週木曜
(12:30～13:30)
(第2・第4例会18:00～19:00)
例会場 中国ダイニング富士屋
(横芝駅前)
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
ホームページ <http://www.yokoshiba-rc.jp>
Eメール info@yokoshiba-rc.jp

平成20年3月27日発行 NO.1840 第1968例会 会報委員長 伊藤迪彦

例会報告 平成20年3月27日)

夜間例会

(18:00 富士屋)

点 鐘 会 長 齋藤逸朗
ソ ン グ 「それでこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 齋藤逸朗
会 務 報 告 会 長 齋藤逸朗
幹 事 報 告 幹 事 石田喜一
プ ロ グ ラ ム
委員会報告 R情報委員会
CLP委員会
会長ILKセミナーに参加して

さて、最近皆さんは、本を読んでいますでしょうか？学びの姿勢から大切な事だと思しますので、友達としてお薦めいたします。私も「21世紀の成功心理学」青木仁志先生の本を読んだばかりです。その中でロータリー理念と同じ人生理念の勉強がありました。目標の設定の前の何の為という、人生ビジョン、人生理念が本当に大切だと思います。又、ロータリーの皆さんとさらに強い絆の友、パワーパートナーを多く作りたいと思います。一生懸命努力いたしますのでよろしくお願い致します。

幹事報告

①例会変更のご案内

- ・東金R. C.
4/7(水) 17:00点鐘 カレドニアンGC
横芝R. C.と東金R. C.の合同例会
- 4/8(火) 休会
- ・大多喜R. C.
3/25(火) 18:00点鐘 会場：千葉市内
夜間例会(家族食事会の為)

②ガバナー事務所よりFAXが届いております。

- ・4月のロータリーレートについて
1ドル=98円

③松戸ロータリークラブ創立50周年記念誌『五十年の歩み』が届いております。

④4/7 東金R. C.とのゴルフ、例会の件

⑤週報受領クラブ

- ・流山R. C. ・小見川R. C. ・旭R. C.

会長挨拶



皆さんこんにちは！ロータリー事務所前にある一号线沿いの桜の花が、やっと咲きはじめました。この分だと4月7日の東金R. C.との合同例会の時期が満開の頃かとカレドニアンGCを楽しみにしています。東金R. C.でもゴルフの参加者が7名、例会の参加者が24名とにぎやかになりそうです。ぜひ、本来の合同例会の意味も含め、名刺交換、握手を積極的にしたいと思います。

■ 委員会報告

◇ R情報委員会 向後委員長より報告

最近会員が多数入会して頂きましたので、新会員にロータリーをよく理解して頂くためと親睦を兼ねて、去る3月18日（火）に八日市場R.C.で新会員を含め13名でメイクアップをして参りました。その結果、新会員の皆様には他クラブでの例会進行などを見て頂き、理解を深めて頂いたことと存じます。



◇ C L P 導入研究会 内田委員長より

去る3月21日 成田ビューホテルで成田R C例会が行われ、横芝R Cから菅井地区委員、富会長エレクト、伊藤元雄会員、内田C L P委員長の4名がメーカーとして出席しました。



今回、成田R Cが初めて今年度導入した成果を是非聞かせて頂き、御指導も賜りたいとの意図もあつたのであります。そこで例会終了後、成田R Cから小川会長、松田幹事、設楽パスト会長（C L P委員長）石橋パスト会長の方々によってC L Pについての懇談の席を設けて頂き、導入迄の苦労された手順や今日迄の成果についてお話を伺い大変勉強になりました。

結論から申し上げますと、活性化が図られて成功であったと話され、小川会長からの正式な実績報告書を頂きましたので次にご報告致します。

C L Pを実施して8ヶ月の経過報告

2007～2008年度成田ロータリークラブ
会長 小川 賢

成田ロータリー・クラブは、2007年7月、クラブ・リーダーシップ・プラン C L Pを国際ロータリー2790地区で最初に実施して8ヶ月を経過しました。

成田ロータリークラブ細則第10条に委員会の任務があります。

「前文略 それぞれの委員会は、具体的な権限、明確な目標、および各年度の初めにその年度内に実施する行動計画を設定するものとする」とあります。

私たちの年度も、昨年3月に各委員会を発足させて活動方針に取り組みました。

去る3月6日、次年度理事役員会が開催され、役員表が確認されたようです。従って会長エレクトが目標、計画に関し理事会に説明するためにも、中間

報告ではありますが今年度の活動の経過をご報告し、継続性をもたせるなかで、次年度の更なる発展に寄与したいと考えます。

成田ロータリークラブは、実に7ヶ月間にわたるクラブ協議を通じて2006年12月1日、クラブ年次総会でC L Pの2007年度実施を決定したのであります。

私たち理事役員会は、改定されたクラブ細則第10条委員会の任務に基づきロータリー年度の開始に先立ち、3～5回にわたる各委員会を開催しました。

そして、奉仕の第二世紀においてロータリーが安定・成長・成功を遂げるために、各委員会の熱心な協議をふまえ、今年度の活動計画を作成しました。

R I会長エレクト李東建氏は2008年国際協議会リポートのなかで、「悲しいことに、C L Pが四大奉仕部門に取って変わる新しい委員会構成であるといわれるのをしばしば耳にします。意図するところはそうではなく、四大奉仕部門はこれからもロータリーの哲学的な礎石であり続けます。C L Pは単なる新しい委員会構成にとどまるものではありません。クラブが望むなら、C L Pを実施しても、委員会構成を以前のままに残すことも出来るのです。」とC L Pが四大奉仕を否定するものではないことを明言しました。

また、「C L Pは、各クラブ独自の特性（アイデンティティ）を築くための土台を提供します。施行の段階は、すべてのロータリークラブが効果的となるために欠かすことのできないリーダーシップのプロセスなのです。」とその目的を明確にしました。

成田ロータリークラブのC L P選択と実施は、クラブを大きく活性化させたと思います。実施して8ヶ月、C L P元年となりました私たち理事役員会は、各計画を忠実に実行するよう務めてまいりました。そして何より各委員会に於いてそれぞれの具体的計画を練り上げ今まで実行に移していただいております。各委員会共にそれぞれ素晴らしい成果を残しつつあることは皆さんご承知の通りです。特に継続性については大成功と言って良いでしょう。今まだ年度の途中でありますので、委員会の具体的な成果については年度終わりに委員会発表でさせていただく形で次年度への継続のある引き継ぎが出来るものと考えます。

我々成田ロータリークラブはこのC L Pを採用して良い方向へ前進出来たと思います。この方向性を是非次年度に継続してほしいと考えます。私は最近になりましてC L Pの成功はロータリーの生い立ち、ロータリーの目的・理念・その源流を、100年たった今、みんなで丁寧に訪ねることではないかと思うようになりました。

◇ 会長エレクト研修セミナーの報告

会長エレクト 富一美委員

皆さん、こんにちは。会長エレクトの富です。会長エレクト研修セミナー、通称（PETS）（Presidents-Elect Training Seminar）の報告をさせていただきます。

去る、3月20日（木）幕張でございます、ホテルニューオータニ幕張にて13：30分点鐘にてセミナーならびに懇親会を含めまして、17時45分まで行われました。

ここで、新入会員の方もおられますので、会長エレクト研修セミナーとは何ぞやと言うことで、ご説明も兼ねてご報告をさせていただきます。

つまり、この研修セミナーの目的といいますのは、2790地区における次期の各クラブ会長が一同に集まり、その任務に備えて準備をするあたり、次期ガバナーや次期地区研修リーダー並びに主要委員会の各次期カウンセラー（クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代育成・ロータリー財団・ロータリー米山記念奨学会）から、会長エレクトとしての成すべきことを教えていただくためのものがございます。

このセミナーの課題には、次の議題が含まれております。

- ・ 年次テーマの提示（※2007～08年度は、ロータリーは分かちあいの心）
- ・ クラブ会長の役割と責務
- ・ 目標の設定
- ・ クラブ指導者を選任し準備させる
- ・ クラブの管理運営
- ・ 会員の勧誘とオリエンテーション
- ・ 効果的な奉仕プロジェクト
- ・ ロータリー財団
- ・ 支援源一どこにあり、それらをどのように使うか
- ・ 年度計画

議題の一番先に申し上げました年次テーマについて、崎山ガバナーエレクトを通じて提示がございましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

2008～2009年度 国際ロータリー会長 李東建（D. K. Lee）さんは、R Iのテーマを“Make Dreams Real”「夢をかたちに」としました。

R I会長いわく、地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てて欲しい。“食料と水、保険と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること・・・これは、（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008～2009年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」して下さるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。”とおっしゃっております。



その背景には、全世界で、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状とのことです。そんな馬鹿な、何かの間違ひではと思いたいところですが、しかし、その数字に間違ひはないそうです。

治療可能な病気や、最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないことや、栄養失調・貧困も他の要因と絡み合っただけで大きな要因となっているようです。

R I会長は、今年度の活動計画の中で、二つの必須目標を掲げておられます。

一つ目の必須事項として、奉仕プロジェクトにおいて子供の死亡率の低下をクラブと地区の主要目標にするようにとのことです。

そこで、当クラブも出来ることからとして、地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たして行きたいと思っております。

二つ目の必須目標として、会員目標において2009年3月31日までに1名の会員純増を達成する（推奨目標：10パーセントの会員純増）ようにとのことです。

以上の二つの必須目標に加えて、会員増強、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕についても細かい目標事項の提示がございましたが、時間の関係で割愛させていただきます。

これは又、この後4月27日に開かれる地区協議会で当クラブの次期の各委員長さんへ出席していただく予定になっておりますが、その際に各カウンセラーから細かい目標事項についてお話を聞いていただくことに成っておりますので、又、後日改めて委員会報告として次期の各委員長さんから会員の皆様へご報告していただくことにしたいと思っております。

続いて、ガバナーエレクト及び次期カウンセラーのコメントについて、ご報告申し上げます。

崎山ガバナーエレクトは、R I会長の以上のような提示・提案事項をうけて、今年度地区は国際ロータリーの目標である子供の死亡率の低下を強力に推し進め、強調事項をさらに実践して行きたいとのことでした。

次に、山中次期クラブ奉仕カウンセラーも、崎山ガバナーエレクトと同じ内容のお話でありましたが、一つ気になるところがございました。それは山中次期クラブ奉仕カウンセラーいわく、2007年規定審議会において、四大奉仕もやっとなりに残った程度であるとし、又、DLP、CLPも強制ではないとして、R Iの推奨する考えに添った考えを持っていないように聞き取れました。これは、ロータリー情報マニュアルの414ページから424ページに亘る、Q&Aを見れば分かるように弱小クラブに取りましては必要不可欠である状況の中、如何なる考えを持ってそのように言っておられるのか理解しがたいところがございました。

次に、白鳥次期職業奉仕カウンセラーは、「ロータリークラブは寄付団体や慈善団体ではなく、ボランティア団体でもない。ロータリークラブは、社交クラブとしてロータリアンに奉仕の心を育み、世の中に倫理を提唱していくべき使命を持った団体なのであるとし、ロータリーは倫理運動であるという視点を見失なうと、ロータリーの職業奉仕がわからなくなってしまいます。よって、クラブでロータリーの歴史を取り上げてロータリーの真髓を学ぶことが大事であり、会長年度の成功の鍵は「ロータリーの歴史を皆で学ぶか否かにかかっている」とまで言われました。これは、私も個人的に同感であります。

次に杉木次期社会奉仕カウンセラーも、今年度のテーマと強調事項の実践にあるとし、社会奉仕活動において次の点に留意することが望ましいとしました。

- ① 地域社会における奉仕のニーズの徹底的調査及び検討。
 - ② 社会奉仕プロジェクト実施に当たり、会員の得意とする職業上の技能、趣味等、その能力を活用すること。
 - ③ 地域のニーズを十分に汲み上げ、クラブの立場や力量を勘案し、プロジェクトを始めること。
- 以上の3点です。

次に、増田次期国際奉仕カウンセラーは、世界社会奉仕委員会と青少年交換委員会とロータリー親睦活動委員会の以上3つの活動状況と方向性について示唆をするようなお話でした。因みに当クラブでは、ロータリー親睦活動委員会の設置は現時点では予定致してはおりません。

次に、鈴木次期地区新世代育成カウンセラーも、今年度のテーマと強調事項の実践にあるとし、この委員会は新世代に如何にロータリーの奉仕の精神を伝え理解を得られるかが問われるところであり、各クラブの会長が工夫を凝らして青少年育成に繋がる活動計画を立てて欲しいとしておりました。

次に、森島次期ロータリー財団カウンセラーは、ロータリー財団の使命をよく理解し、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることであると、是非とも貴重なロータリー財団の奉仕活動の実態と成果をご理解下さいとのことでした。

最後に、秋元次期ロータリー米山記念奨学会カウンセラーは、米山記念奨学会事業が始まってから半世紀が経ち、ロータリー米山奨学生はすでに世界109ヶ国にわたりおよそ13,000名を超えています。当地区の寄付額は全国平均値14,620円を大きく下まわるおよそ12,919円であります。そこで、寄付は強制するものではなく、皆様の誠意ではありますが、全国平均値15,000円を上まわることを目標にしたいとしておりました。

以上で、ガバナーエレクト及び次期カウンセラーのコメントは終わりますが、最後に2008～2009年度のガバナー公式訪問の日程が9月4日(木)に昨年同様、東金、横芝、東金ビューの3クラブ合同で行う予定で決定しました。尚、開催場所につきましては、未だ決まっておりませんが、決まり次第、時期を見て皆さんにご報告いたします。

以上を持ちまして、会長エレクト研修セミナーの報告を終わります。

◇ 国際奉仕委員会森川委員長より

来週は交換留学生の朝長璃紗さん、平山未咲さんが横芝RCを訪問されますので温かくお迎え下さい。



■ ニコニコボックス

渡辺晃君 … (結婚記念祝を頂きました、無事旅行から帰りました)

廻島 … (結婚記念祝を頂きました)

河野和夫君・伊藤元雄君・杉森幹男君

・高田一行君・小川佐内君

… (名刺ありがとうございました)

鈴木恭一君・内田裕雄君

… (仕事多忙です)

椎名鎌一郎君… (夜間例会大好き)

向後雅生君 … (メイクアップに大勢来て頂いて)

小川和好君 … (父の葬儀でお世話になりました)

土屋俊夫君・富一美君・行木英夫君

… (メイクアップご苦労様)

森川忠君 … (ボタンありがとう)

本日計	31,000円
累計	881,600円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
3月27日	42	34	8	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう